

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

島全体が学びの場。学び方、働き方、暮らし方を学ぶ場として、地域が変わる。  
～教育の島 粟島プロジェクト～

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

岩船郡粟島浦村

## 3 地域再生計画の区域

新潟県岩船郡粟島浦村の全域

## 4 地域再生計画の目標

### (1) 地域再生計画の背景

粟島浦村は、新潟市の北方約 63 km、村上市岩船港の北西約 35 kmの日本海に浮かぶ、孤立小型離島「粟島」一島で一村を形成する村である。本村と本土を結ぶ唯一の交通手段である定期航路は、粟島港を拠点に村上市岩船港との間に高速船とフェリーが運航している。

本村の漁業は、立地的に環海性で周囲に好漁場を有しており基幹産業として成長を遂げ（平成 22 年は漁獲量 697 トン、漁獲高は 2 億円：港勢調査資料より）地域経済の発展に寄与してきたところである。

また、観光業においては昭和 40 年前半の離島ブーム以来発展を続け、漁業とともに本村の基幹産業の両翼を担うまで伸長しており、中核的な温泉施設及びコミュニティバスなどが整備され、夏場は多くの観光客に利用されている。

しかし、今日の本村における漁業をめぐる環境は、経営者の高齢化、担い手となる就業者が減少し、それに加えて魚価の下落及び燃油の高騰等、逼迫した厳しい経営状況が続いているのが現状である。

村民の依存度が最も高い観光業においても、中越地震などの天災や近年の地域格差による景気回復の遅れなどから観光客数が年々減少し、平成 4 年の 57,000 人が平成 22 年には 23,000 人と 40%も減少しており、観光を取り巻く環境も厳しい状況にあるなか、多種多様な観光ニーズに対応した取組が遅れており、また地域の観光資源の魅力を高める中核的な人材が不足している。

粟島浦村は、村上公共職業安定所管内に所在しているが、上記に述べたさまざまな原因から雇用者が減少し、厳しい雇用情勢、経済情勢が続いているのが現状である。

村上公共職業安定所管内の最近 3 年間及び最近 1 年間における有効求人倍率は下表のとおりで一般・常用ともそれぞれほぼ全国の数値を下回っている。

		有効求職者数	有効求人数	有効求人倍率 (村上公共職業安定所)	有効求人倍率 (全国)
一般	平成 20 年度	19,103	11,912	0.62	0.77
	平成 21 年度	21,026	9,704	0.46	0.45
	平成 22 年度	19,669	11,631	0.59	0.56
	3年間平均	19,933	11,082	0.56	0.58
常用	平成 20 年度	13,687	6,966	0.51	0.66
	平成 21 年度	15,230	4,905	0.32	0.36
	平成 22 年度	14,269	5,904	0.41	0.47
	3年間平均	14,395	5,925	0.41	0.48

## (2) 地域再生計画の目標

前述のような現状にあることから、国の支援措置である「実践型地域雇用創造事業」を活用し、漁業においては、水産加工という新たな分野に進出することで、漁業分野への若者の就業を促進する。

観光業においては、新たに体験観光や野外教育など子供を対象にした長期キャンプの実施、ほぼ自給自足の生活を島民から学ぶスローライフ講座など、季節を問わず滞在型のプログラムを提供し、このようなプログラムの蓄積により、自然学校の創業が可能になり、新たな雇用を創出する。

### (目標)

#### ① 雇用者数増 36 人

実現型地域雇用創造事業によるアウトカム指標 30 人に地域独自の取組（本計画書 5-3-2 等参照）による雇用者数増加分を加算して算出

#### ② 各種セミナー、研修の実施（本計画書 5-3-1 参照）

#### ③ 特産品の開発件数 3 件（平成 27 年 3 月末まで）

#### ④ 観光客入れ込み数増 年間 23,000 人（平成 22 年度実績）

⇒年間 25,000 人（平成 26 年度）

### (参考) 実現型地域雇用創造事業によるアウトカム指標

	参考就職者数								アウトカム指標 設定の根拠
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		合計		
イ 雇用拡大メニュー	3 人		3 人		3 人		9 人		
1) 人事管理セミ	常用雇用	1 人	常用雇用	1 人	常用雇用	1 人	常用雇用	3 人	アウトプット数

ナ	ナー	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	12社≠01名のほ ぼ半分程度
		創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	
	2)新規分野進出 や創業に関する セミナー	常用雇用	1人	常用雇用	1人	常用雇用	0人	常用雇用	2人	
		常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	
	3)開発製品等公 開セミナー	創業者	0人	創業者	0人	創業者	1人	創業者	1人	
		常用雇用	0人	常用雇用	0人	常用雇用	1人	常用雇用	1人	
		常雇以外	1人	常雇以外	1人	常雇以外	0人	常雇以外	2人	
	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人		
ロ	人材育成メニュー	3人		3人		3人		9人		
1)海産物、農産 物、民宿、観光 業活性化のため の先進地視察研 修の開催	常用雇用	1人	常用雇用	1人	常用雇用	1人	常用雇用	3人	ハローワーク管 内の求人数から 按分した地域内 有効求職者数 26 人の約3割	
	常雇以外	2人	常雇以外	2人	常雇以外	2人	常雇以外	6人		
	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人		
ハ	就職促進メニュー	0人		1人		1人		2人		
1)HPの開設	常用雇用	0人	常用雇用	0人	常用雇用	0人	常用雇用	0人	ハローワーク等 が主催している 就職面接会等の 9.8%で設定	
	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人		
	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人		
	2)企業説明会	常用雇用	0人	常用雇用	1人	常用雇用	1人	常用雇用		2人
		常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外		0人
		創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者		0人
ニ	雇用創出実践メ ニュー	3人		3人		4人		10人		
1)地域資源活用 事業	常用雇用	1人	常用雇用	1人	常用雇用	2人	常用雇用	4人		
	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人		
	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人		
	2)冒険島推進事 業	常用雇用	2人	常用雇用	2人	常用雇用	2人	常用雇用		6人
		常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外		0人
		創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者		0人
合計	イ 雇用拡大メ ニュー	3人		3人		3人		9人		
		常用雇用	2人	常用雇用	2人	常用雇用	2人	常用雇用	6人	
		常雇以外	1人	常雇以外	1人	常雇以外	0人	常雇以外	2人	
		創業者	0人	創業者	0人	創業者	1人	創業者	1人	
	ロ 人材育成メ ニュー	3人		3人		3人		9人		
		常用雇用	1人	常用雇用	1人	常用雇用	1人	常用雇用	3人	
		常雇以外	2人	常雇以外	2人	常雇以外	2人	常雇以外	6人	

		創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	
ハ 就職促進メニュー		0人		1人		1人		2人		
	常用雇用	0人	常用雇用	1人	常用雇用	1人	常用雇用	2人		
	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人		
	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人		
ニ 雇用創出実践メニュー		3人		3人		4人		10人		
	常用雇用	3人	常用雇用	3人	常用雇用	4人	常用雇用	10人		
	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人	常雇以外	0人		
	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人	創業者	0人		

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

漁業の振興に関しては、少ない量でも収益を上げられるように水産資源に付加価値をつけ、直売することにより中間搾取を減らし持続可能な漁業を目指す。その方策として加工品を開発するとともに開発した商品を直売所で販売し、観光事業と連携することで相乗効果を目指す。

観光の振興に関しては、野外教育など自然をいかした子供対象のプログラムや少人数で滞在型の、島民と交流しながら粟島の自然、文化、歴史を体験するエコツーリズムといった体験観光、ほぼ自給自足の島民の暮らしから学ぶスローライフ講座など、島全体が「学びの場、教育の場」となるプログラムを展開する。

これらを踏まえて村としては、それぞれに対応可能な計画的人材育成、既存企業への情報提供及び創業を含めて新規分野への進出を一体的に取り組む

### 5-2 法第5章の特別措置を適用して行う事業

該当無し

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 基本方針の基づく支援措置

実践型地域雇用創造事業（厚生労働省）

事業実施主体：粟島浦村地域雇用創造協議会

構成員 粟島浦村、粟島浦漁業協同組合、粟島汽船株式会社、  
有限会社粟島定置、粟島観光協会、粟島旅館組合、  
NPO法人インフォメーションセンター、  
粟島ドリームランド協議会

(実施する事業の内容)

#### I 雇用拡大メニュー

##### (1) 人事管理セミナー

地域企業に対して、専門家を招聘し、人事管理に関するセミナーを実施及び相談助言を行い、就業者を活かした事業の充実・強化・拡大により雇用創出を図る。

- ① 成功事例に学ぶセミナー(発想力を鍛える)
- ② 実践マネジメント研修(事業体の変化、新しい人とのチームワークなどに円滑に対応するための研修)

(2) 新規事業分野進出や操業に関するセミナー

海産物の加工品の開発及びブランド化、エコツーリズムを活かした観光によるガイド業の創出など新規事業分野に進出や創業を検討する事業主を対象に専門家を招集しセミナーを通じて研修・相談助言等を行う。

- ① 海産物・農産物の加工品開発・成功セミナー
- ② エコツーリズムマネジメント講座
- ③ 新規事業立ち上げまたは事業再構築のための研修

(3) 開発製品等公開見本市

事業主及び創業予定者等を対象に実践メニューにより開発された製品やサービスの具体的な手法(ノウハウ)を公開するために開発成果の時勢によって開催し、新たな製品等について紹介する。

- ① 栗島の新しい製品とサービス公開シンポジウム兼見本市

## II 人材育成メニュー

(1) 海産物、農産物、民宿、観光業発展のための先進地視察研修の開催

漁業加工品、農業加工品、民宿、観光業関連の求職者を対象に各分野での創業に必要な基礎知識を学び、さらに栗島内部での有り様をベースにする実地訓練し、必要に応じて先進地でのやり方を体験しながら学ぶために先進地視察研修を実施し、発酵技術を活用した加工品生産と販売、ブランド化までのノウハウを身につけた技術者を確保もしくは育成し、地域求職者の早期就業を支援する。

- ① 新しい漁業推進者育成研修会
- ② 新しい農業推進者育成研修会
- ③ 新しい民宿業推進者育成研修会

## III 就職促進メニュー

(1) HPの開設

メインは協議会の雇用拡大メニューや人材育成メニュー、実践メニューの事業や参加者募集について紹介し、さらに栗島の魅力や栗島の雇用の場として栗島の企業紹介に関する情報を提供できるHPを開設する。

(2) 企業説明会

直接説明することにより栗島の魅力を伝え、求職者とI J Uターン者を引き込むために栗島の企業紹介を実施する。

## IV 雇用創出実践メニュー

(1) 地域資源活用事業

粟島には、タイやジャガイモなどの名産はあるが、島での販売が無いために民宿や食堂で食べる料理でしか味わうことができない。粟島の資源を洗い出し、加工して付加価値をつけて特産品として販売したり、直販の仕組みを充実させて観光客などが粟島の産物を購入しやすい仕組みをつくって直販を盛り上げる。

また、粟島浦村が出店する全国物産市のようなイベント（例：全国の離島が集まるアイランダー）などに同行し、開発した特産品のPRを行い、評価を得るとともに、販路拡大に資する。

3年目には、販路開拓のための営業をし、粟島ブランドの認知度を高める。

#### ① 水産物、農産物を活用した特産品の開発

（マーケティング、商品開発、製造方法開発、パッケージ作成）

### （2）冒険島推進事業

子どもを対象とした野外教育を実践するための土台を作る。つまり、子ども達が粟島で自然の中で冒険し、島民の温かい人柄に触れ、昔からの行事を体験できるプログラムを開発する。島へのネガティブなインパクトが少ない少人数（20人程度まで）・滞在型を基本とし、キャンププログラムを開発して、モニタープログラムを運営することにより事業化へつなげる。具体的には、教育プログラムのノウハウを持つNPOと連携しながら、粟島らしいプログラムの開発に取り組む。

また、漁業体験など体験型の観光プログラムや、都市の大人（特に高齢者）を対象とした島民のほぼ自給自足の生活から学ぶスローライフ講座プログラムを開発し、モニタープログラムを実施する。具体的には、地元の人に講師になってもらって、漁師体験をするなり、おばあちゃんに地元料理を学ぶプログラムを開発し、実践支援員はコーディネーターとしてプログラムの質を上高める。

このプログラムの開発と実施には、島民全体の理解が必要であり、どのような役割を求められ、報酬が得られるのか、なども明確にしつつ、しっかりとした協力体制を築くことも重要である。

3年目には、事業の集大成としてプログラム紹介パンフレットを作成すると同時に、モニターツアーとして集客し、プログラムを実践する。

この3年間で、プログラムの開発のみでなく、「あわしま学校」として自主独立した団体として運営できる仕組みも検討する。全国の子自然学校の多くはNPO法人として運営しているので、NPO法人取得を目指す。

#### ① あわしま学校のプログラム開発

（資源調査、プログラム企画（長期キャンプ、ディプログラム）、島民との協力体制の整備（役割と報酬の明確化）モニタープログラムの実施）

### 5-3-2 その他の関連事業（粟島浦村独自事業）

〈観光振興を担う優れたリーダーの養成〉

～観光振興の取組～

#### （1）野生馬復活支援事業

かつて本村に生育していた在来馬を復活させてかつての原風景をとりもどすとともに新たな観光資源として活用し、地域の活性化と雇用創出を図る。

#### （2）粟島地区コミュニティバスの運行

平成21年7月に公共交通空白地域の解消と観光客の利便性向上を目的に島内2集落間でコミュニティバスを運行

#### （3）スキューバダイビング事業

新たな観光資源として天然の豊かな海中散歩を観光客に提供し、地域の活性化及び観光振興を図る。

〈その他主な地域の独自事業の取組〉

#### （1）循環型社会形成事業

粟島に自生する真竹を活用した土壌改良材で循環型の島づくりを進め、島の活性化と雇用創出を図る。

## 6 計画期間

認定を受けた日から平成27年3月末まで

## 7 目標達成状況に係る評価に関する事項

すべての事業において、事業利用者へのアンケート調査を定期的に行い、目標達成の評価を行う。